



令和5年度全国学力・学習状況調査

丹波市の調査結果の概要



丹波市教育委員会

本年4月18日、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査の目的は、児童生徒の学力・学習状況を分析し、学習意欲を高め、学習内容の定着を図っていくことにあります。

丹波市では、学校が児童生徒にとって安心できる居場所となるために、一人ひとりが「わかった」「できた」と実感できる授業や、すべての児童生徒が学習に主体的に取り組み、友だちと協働しながら活躍できる授業を展開する必要がありますと考えています。そのためには、教職員が児童生徒の学習の達成状況を的確に把握し、一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、活かすことが必要になります。この調査結果をその機会の一つであるととらえ、本調査結果を踏まえた指導の改善・充実に取り組んでいきます。



家庭・地域・学校で学力を育む7つの提案！

①規則正しい生活を心がけましょう。

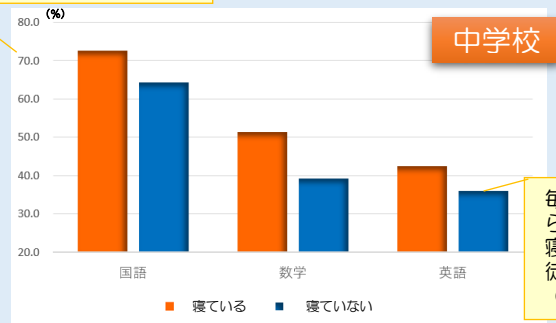
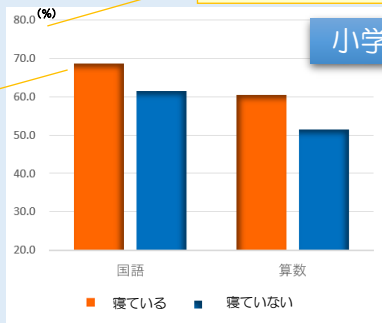
「早寝・早起き・朝ごはん」



「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

各グラフの縦軸（%）は平均正答率の割合です。

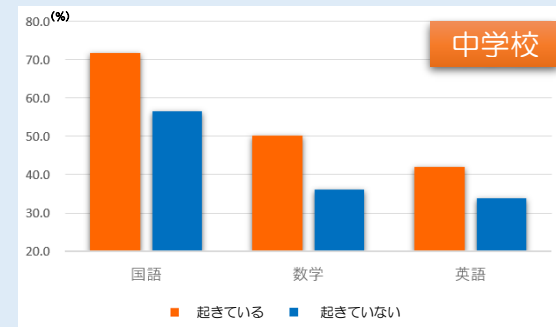
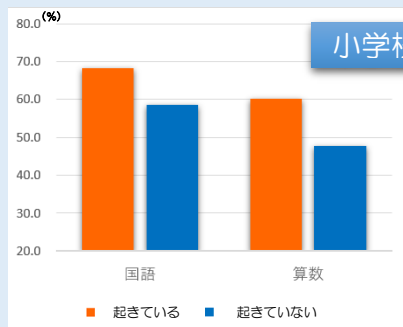
毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童の正答率（オレンジ色）



毎日、同じくらいの時刻に寝ていない生徒の正答率（青色）



「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

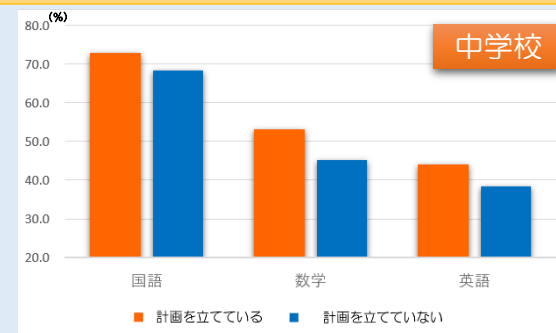
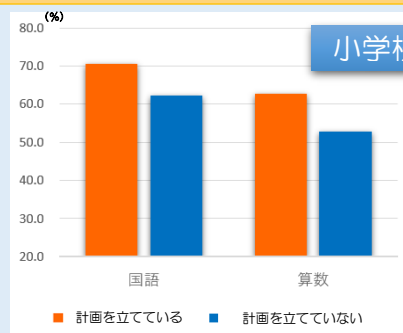


規則正しい生活ができるようにしましょう。睡眠や食事を、ほぼ毎日同じリズムで生活することが、学習習慣にも好影響がみられます。

②家庭学習の時間を決めて、毎日の計画的な学習が効果的です。



「家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。



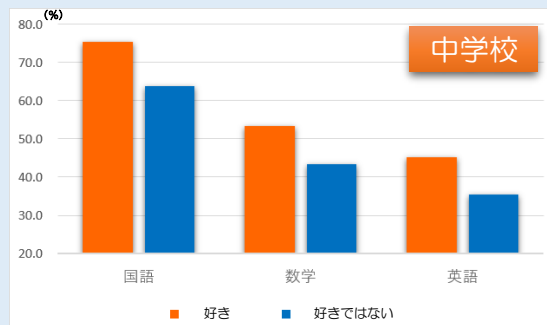
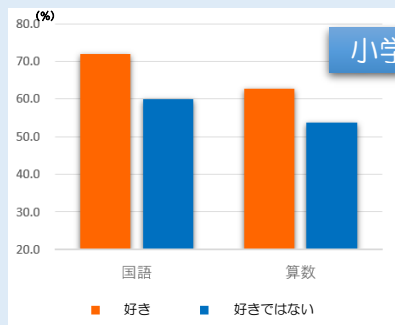
③TV やゲーム、スマホ・タブレットの使用について、家庭ルールをつくりましょう。

学習や娯楽など、家庭での過ごし方について、目的に応じた計画を立てたり、家庭ルールを作ったりすることが大切です。計画を振り返ることでより成長します。

④本を読む習慣をつけましょう。



「**読書は好き**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率は高い。

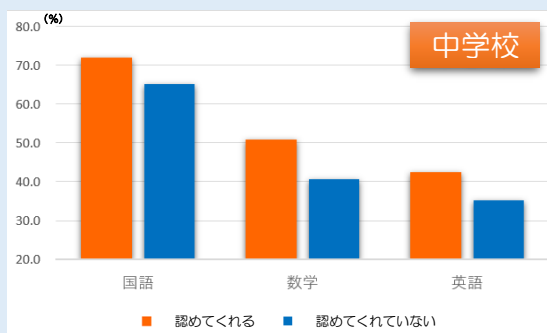
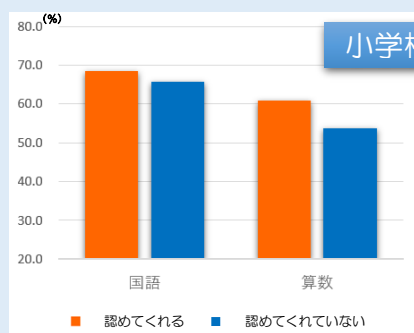


学校の図書館や市の図書館を利用するなど、本を読む習慣をつけることが学力向上につながります。興味・関心のある本を探してみてください。

⑤がんばりを認め、笑顔でほめましょう。



「**先生は、あなたのよいところを認めてくれる**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率は高い。



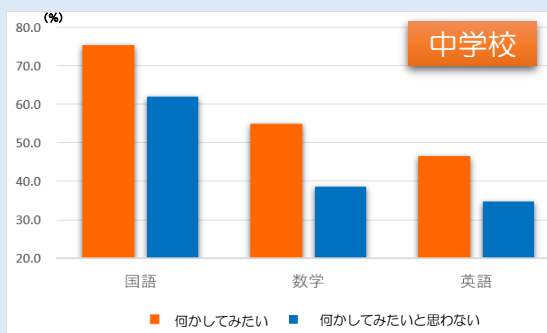
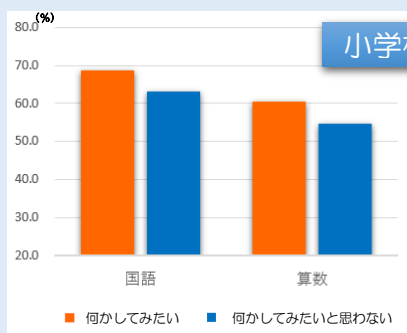
⑥学校や勉強のこと、仕事や社会の出来事などについて、子どもと話をしましょう。

子どもたちとの対話を通して、ほめたり、認めたりすることで、自己肯定感が高まります。会話の中からほめたり、認めたりできることをたくさん見つけましょう。

⑦地域の行事に進んで参加・参画させましょう。



「**地域や社会をよくするために、何かしてみたい**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率は高い。



地域の行事に参加することで、自分たちの地域を知ることができます。地域の課題を考えたり、子どもたちが主体的に地域をよくするために行動したりすることが大切です。

小学校国語

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることに成果が見られました。

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることに課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

○条件
○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ「農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量」と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
○問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
○六十文字以上、百文字以内になどめて書くこと。

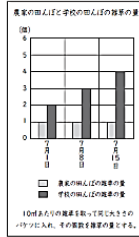
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを行いました。ア、いかに雑草が生えてきて、とてもこまらなりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼを比べてみました。つきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書き表すこと、あなたが川村さんなら、どのような理由で解決方法を決めるか、あとの条件も合わせて書き表すこと、

【R5年度全国学力・学習状況調査 小学校国語より抜粋】

- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題。

【課題】

○複数の資料(図や記録)を用いて自分の伝えたい内容を明確にして、それらに関連づけながら、目的に応じた文章に書き表すことに課題が見られました。

【今後の学習の中で】

☆自分の考えが伝わるように書く学習では、伝えたい内容を補う図表やグラフ等を用いるとともに、資料から分かることを文章で書き表す機会を確保した授業をしていきます。

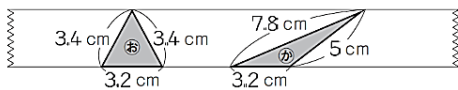
小学校算数

式を日常生活に関連付けて読み取ることに成果が見られました。

図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【R5年度全国学力・学習状況調査 小学校算数より抜粋】

- 高さ等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて表現する問題。

【課題】

○面積を求めるためには、図形のどこに着目すればよいか(特に高さ)を判断することに課題が見られました。また、2つの図形を比較して、面積が等しくなることを筋道を立てて説明することに課題が見られました。

【今後の学習の中で】

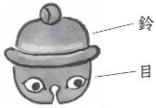
☆今回の問題において、もし高さが数値として示されていたなら、計算を基に面積比較をすることで解決することができたと考えられます。図形領域(特に面積)における学習において、面積を求める力以上に、面積の定義を活用したり、図形の性質を基に複数の図形を考察し、共通点などを表現したりする力を育成していく学習機会を設定します。

中学校国語

(課題の見られた問題例)

■「判じ絵」の解説の面白さ

「判じ絵」の解説の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。

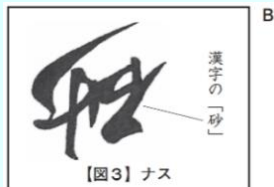
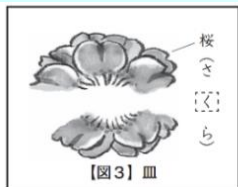


【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解説すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ

【問題三四】

「『判じ絵』の解説の面白さ」に【図3】としても一つ具体例を示して、解説の仕方を説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。次の〈候補〉のA、Bから一つ選び、「図3には、」に続けて、【図2】の説明の仕方を参考にして書きなさい。



聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに成果が見られました。

書き手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることに課題が見られました。

【R5年度全国学力・学習状況調査

中学校国語より抜粋】

「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く問題。

【課題】

○説明の中に、選んだ判じ絵をどのように読み解くのか示すことに課題が見られました。

○図に応じた解説の仕方を、根拠として文章の中に記述する必要があることを理解することに課題。

【今後の学習の中で】

☆目的や意図に応じて、自分の考えを明らかにした上で、根拠をどのように記述すると明確になるのかなど、説明の仕方を吟味・工夫する機会を確保します。
☆他者と交流する等、自分の考えを深めたり、再考したりできるような場面設定をします。

中学校数学

(課題の見られた問題例)

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形ABCと、 $\triangle ABC = \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

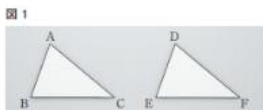
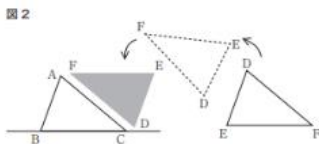


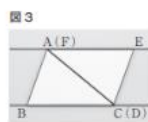
図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。



◇ 図3のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。



優奈さんは、方法1の直線BCと直線AE、方法2の直線BCと直線AFがそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC = \triangle CEA$ です。

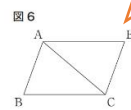


図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC = \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

【R5年度全国学力・学習状況調査中学校数学より抜粋】

ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する問題。

【課題】

○図形の性質を考察する問題で、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られます。

○筋道を立てて考えること、与えられた情報と既習の「知識・技能」を関連づけて思考することに課題が見られません。

【今後の学習の中で】

☆図形に関する見方・考え方を働かせて、課題解決に向けて必要な情報を見つけ、既習の「知識・技能」を関連づけながら、筋道を立てて、結論を導き出すような学習活動を大切に授業づくりを推進します。



基礎的・基本的な計算技能について成果が見られました。

問題解決の過程や結果を振り返って考察することに課題が見られました。

中学校英語

(課題の見られた問題例)



日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取ること
に成果が見られました。

日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な
話題について自分の考えや理由を表現したりすることに
課題が見られました。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(1) 英文中の () に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選びなさい。

- 1 Like this 2 For example
3 Then 4 Second

【R5年度全国学力・学習状況調査

中学校英語より抜粋】

日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題。

【課題】

- 文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉えることに課題がみられます。
- 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることも必要です。
- 「読むこと」について、文と文との関係を読み取りながら各段落の概要を捉えることや、語と語の関連や代名詞、接続表現を手掛かりに情報を正確に把握することが重要です。

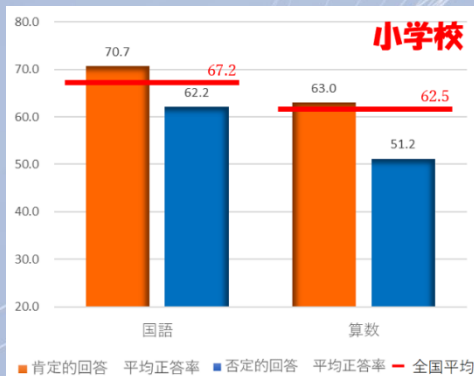
【今後の学習の中で】以下の3点に留意した授業づくりを推進します。

- ☆一文ごとの精読ではなく、段落ごとに内容をつかんで概要を把握していく。
- ☆起承転結、主張と具体例などを踏まえ、文の構成をもとに内容をつかむ。
- ☆生徒が読みたくなるような課題文を提示する。

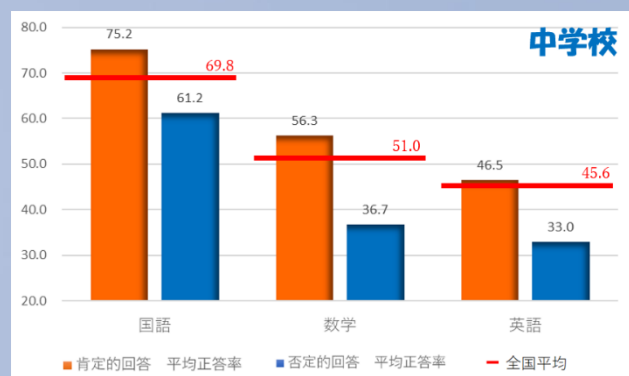
~コラム

次の学習につながる「ふりかえり」が大切です

学習の見通しを持たせ、自ら課題解決に取り組ませましょう！



肯定的回答者 73.8% (全国平均 77.4%) 否定的回答者 26.2%



肯定的回答者 67.0% (全国平均 69.2%) 否定的回答者 32.7%

児童質問紙の「学習のふりかえり」と「各教科の正答率」との相関をみると、小・中学校の全教科で肯定的に回答している児童生徒の正答率は、否定的に回答している児童生徒に比べて正答率が高い傾向にありました。また、肯定的に回答した児童生徒の正答率は、全国平均より高いことがわかります。普段の学習(家庭学習等)において、自分の苦手な学習や挑戦したい学習を行うなど、見通しを持って学習に取り組んだり、「分かったこと」や「分からなかったこと」等を明確にしたふりかえりをしたりすることで、次の学習につながるふりかえりとなります。最初は、一緒に計画を立てたり、ふりかえりをしたりするところから始めてみましょう。計画通りできなくても、できたことを認め、次に取り組むことを共有し、子どもの頑張りをほめたり、認めたりすることで自己肯定感が高まります。